

平成21(2009)年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程(社会情報学コース・一般選抜)

入学試験問題
専門科目

(平成20年8月25日 14:00~16:00)

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. 本冊子は、社会情報学コース・一般選抜の受験者のためのものである。
2. 本冊子の本文は4ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は3枚ある。問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号(例:「第1問」)、選択記号がある場合にはその記号(例:「第2問A」)及び受験番号を必ず記入すること。問題番号、選択記号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏名	

社会情報学（一般選抜） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

Privacy is fundamentally about the power of the individual. In many ways, the story of technology's attack on privacy is really the story of how institutions and the people who run them use technology to gain control over the human spirit, for good and ill. That's because technology by itself doesn't violate our privacy or anything else: it's the people using this technology and the policies they carry out that create violations.

Many people today say that in order to enjoy the benefits of modern society, we must necessarily relinquish some degree of privacy. If we want the convenience of paying for a meal by credit card, or paying for a toll with an electronic tag mounted on our rear view mirror, then we must accept the routine collection of our purchases and driving habits in a large database over which we have no control. It's a simple bargain, albeit a Faustian* one.

I think this tradeoff is both unnecessary and wrong. It reminds me of another crisis our society faced back in the 1950s and 1960s—the environmental crisis. Then, advocates of big business said that poisoned rivers and lakes were the necessary costs of economic development, jobs, and an improved standard of living. Poison was progress: anybody who argued otherwise simply didn't understand the facts.

Today we know better. Today we know that sustainable economic development *depends* on preserving the environment. Indeed, preserving the environment is a prerequisite to the survivability of the human race. Without clean air to breathe and clean water to drink, we will all surely die. Similarly, in order to reap the benefits of technology, it is more important than ever for us to use technology to protect personal freedom.

出典: Simson Garfinkel, *Database Nation* (O'Reilly Media, Inc., First Paperback Edition, 2001)

*Faustian: ファウスト的な

- (1) この文章の要旨を、日本語にて600字程度でまとめなさい。
- (2) 下線部の指摘に対して、社会情報学的な観点から、あなたの賛否の立場を明確にした上で、その根拠について、具体的な事例を挙げながら日本語にて800字程度で述べなさい。

社会情報学（一般選抜） 第2問

以下の(A)から(F)までの中から1問を選択し、選択した問題の記号を解答用紙に明記の上、答えなさい。

(A) インターネット上の情報流通による権利侵害をめぐって、様々な対応策が議論されている。

- (1) こうした権利侵害に関する裁判例を、400 字程度で述べなさい。
- (2) (1) で挙げた裁判例について、新聞や放送などの従来のメディアによる権利侵害との違いを、400 字程度で述べなさい。
- (3) 「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」の下で採りうる対応策の内容と限界について、(1) で挙げた裁判例に言及しながら、800 字程度で述べなさい。

(B) 近年、多くの国々でテレビ番組アーカイブの整備が進んでいる。これに関して以下の問いに答えなさい。

- (1) テレビ番組アーカイブの意義について、「公共的記憶」という観点から 600 字程度で論じなさい。
- (2) テレビ番組アーカイブの課題について、枠内の 4 つのキーワードをすべて使って 1000 字程度で論じなさい。

保存番組の選別 法的権利 アクセス シナジー効果

(C) 集団的自衛と集団安全保障について、複数の分析視角を明示しながら両者の相違点を説明するとともに、両者それぞれが具体化された制度の実例を挙げ、さらにそれぞれの実効性を阻害する要因について、合計 1600 字程度で説明しなさい。

(D) 近年、電子マネーへの変換性のある企業発行ポイントが急速に普及しつつある。現在、政府において経済活動に及ぼす影響について促進と規制の両面から議論されている。企業ポイント、電子マネーとはそれぞれ何か説明し、企業と消費者にとって企業ポイント、電子マネーの導入メリットについて述べた上で、マクロ経済学的な影響について 1600 字程度で述べなさい。

(E) 人は自己の行なった選択や判断は他者にも共通する一般的なもので適切であり、それ以外の選択や判断は、一般から逸脱したものであると見なす傾向がある。これを「フォールス・コンセンサス効果 (false consensus effect)」と呼ぶ。

- (1) フォールス・コンセンサス効果の研究例を挙げなさい（「実際の研究事例」か、あるいは「あなたが考える研究デザインと結果の予想」のいずれかについて 400 字程度で述べなさい）。
- (2) 「自尊感情」から、この効果のメカニズムを 200 字程度で説明しなさい。
- (3) 世論形成に関して述べられている理論モデルのうち、表面上、この効果と相

反する現象に言及した理論を挙げ、その理論モデルについて 400 字程度で説明しなさい。

- (4) ネット上における世論形成過程の特性を、「フォールス・コンセンサス効果」を用いて 600 字程度で説明しなさい。

- (F) 以下は、2000 年 8 月 4 日『毎日新聞』に掲載された記事を抜粋したものである。この記事、および記事に書かれている事象を社会学的に分析するさい、この記事の他に、どのような資料を収集する必要があると考えられるか。その理由とともに示しなさい。また、そうした資料に基づき、どのような理論的観点から分析することが可能と考えられるか。あわせて 1600 字程度で解答しなさい。ただし、枠内に記した言葉のうち少なくとも 2 語を用い、その下に傍線を引くこと。

「今年 1～6 月の上半期に、殺人、強盗、放火など凶悪事件で逮捕・補導された少年（14～19 歳）は昨年同期に比べ 21 人増えて 1063 人で、4 年連続して 1000 人を超えたことが 3 日、警察庁のまとめで分かった。17 歳の少年による高速バス乗っ取り事件や岡山県の金属バット殺人事件など、殺人容疑で検挙された少年は 53 人で、昨年同期と比べほぼ倍増するなど、凶悪化が一層深刻になっている。」

社会構築主義	暗数	レイベリング理論	アノミー	緊張理論	メディア・イベント
--------	----	----------	------	------	-----------

社会情報学（一般選抜） 第 3 問

以下の (a) から (f) までの 6 つの群から 1 つの群のみを選択し、選択した群のアルファベット記号 ((a) ～ (f)) を解答用紙に明記の上、その群に列記されている 5 つの用語のうち 3 つを選択して、選択した 3 つの用語の意味を、そのカナ記号 ((ア) ～ (オ)) とともにそれぞれ 400 字程度で説明しなさい。

- (a) (ア) 情報公開制度
(イ) 罪刑法定主義
(ウ) 「思想の自由市場 (marketplace of ideas)」理論
(エ) 営業秘密の法的保護
(オ) EU 指令 (directive) の効果
- (b) (ア) ガブリエル・タルド (Gabriel Tarde)
(イ) 『幻影の時代』(The Image)
(ウ) ウォーターゲート事件

- (エ) エスニック・メディア
 - (オ) 公共放送受信料制度
- (c)
- (ア) Steven Lukes の三次元的権力観 (three-dimensional view of power)
 - (イ) 業績評価投票 (retrospective voting)
 - (ウ) 国際原子力機関 (International Atomic Energy Agency)
 - (エ) 相互依存論における敏感性 (sensitivity) と脆弱性 (vulnerability)
 - (オ) グローバル・ガバナンス (global governance)
- (d)
- (ア) 排出権取引制度 (emission trading system)
 - (イ) 有効需要 (effective demand)
 - (ウ) ベイズの定理 (Bayes theorem)
 - (エ) 企業の社会的責任 (CSR : Corporate Social Responsibility)
 - (オ) SaaS (Software as a Service)
- (e)
- (ア) マスメディアのアジェンダ・セッティング (agenda-setting) 機能
 - (イ) 「火星からの侵入 (*The Invasion from Mars*) 」事件
 - (ウ) 培養分析[涵養分析] (cultivation analysis)
 - (エ) ピグマリオン効果 (Pygmalion effect)
 - (オ) 言語行為論 (speech act theory)
- (f)
- (ア) 理解社会学 (verstehende Soziologie)
 - (イ) 成員カテゴリー化装置 (membership categorization device)
 - (ウ) 公定ナショナリズム (official nationalism)
 - (エ) パターン変数 (pattern variables; Parsons)
 - (オ) コミュニケーション的行為 (kommunikatives Handeln; Habermas)